

地域密着型サービスの自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしい暮らしを続けることを支援しながら地域に開かれたグループホームを目指します。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	笑顔と挨拶 一人一人のペースを大切にしているを理念に上げている。それを日々のケアの中で共有しています。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関にも理念を打ち出しておりまた、運営推進会議の中でも家族や地域の方々に理解をしていただけるよう取り組んでいます。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ホームが高台にあり隣近所との日常的な付き合いは難しいですが地区の自治会に入会し、近隣の方とも顔見知りになりました。回覧版をまわすときにいつでも遊びに来ていただけるように挨拶をしています。	○ 高台にあるため近隣の人との付き合いが出来ていないが利用者と散歩を兼ね近隣の人と気軽に付き合いができるように努めたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区の自治会に入会し、回覧板等が廻って来るようになり地区の行事や、地区の祭り等がわかるようになりました。できるだけ参加をして交流を深めるように努めます。	○ 地域活動や行事等に参加をしたりホームの行事等の参加を呼びかけたりして地元の人々との交流を深めていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	グループホームは高台に位置し災害時の避難場所としての受け入れができるようにしています。非常食も用意して地区の方への貢献に努めるよう取り組みをしています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価に取り組むことでホームとしてのありかたや、家族、利用者とのかかわり方に新たに見直す、良い機会として取り組んでいます。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	三ヶ月に一回で運営推進会議を開催しています。会議の中で出た意見に対しては、職員や理事長との話し合いを持ち次回には回答できるようにしてサービスの向上に努めています。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者とは運営推進会議以外にはあまり行き来する機会がないので、これからはホームの行事等の案内状を出したりと行き来するように努めます。	○	ホームの行事等の案内状を出したり声かけを行いもっと市町村の担当者と身近なお付き合いができお互いにサービスの向上に取り組めるように努めたいと思います。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	ホームからも研修会に行っており学ぶ機会があります。現在のところ該当する利用者がいませんが必要があれば支援していききたいと思います。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待については特に勉強会は実施していないが月1回のミーティングの中で認知症の対応について話し合う時間を設けている。入居者同士でもトラブルがあり言葉使いや対応には気をつけています。また職員にもストレスが溜まらないように気軽に話せる雰囲気にも努めています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	入所時に説明を行って、グループホームの内容を理解していただけるように努め、また面会時等にも家族の言葉に耳を傾けて不安や疑問を聞けるように努めています。	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	利用者が、不満や、苦情をいつでも気軽に言ってもらえるような雰囲気や言いやすい関係を築き傾聴するように心がけています。苦情があった際は職員間で話し合い出来るだけ本人の希望に添えるように努めています。	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	請求書を送るときに、各担当者が利用者の暮らし振りや健康状態、金銭管理等には手紙で、また職員の異動については新聞等で報告しています。	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	運営推進会議の中でもご家族が意見、不満、苦情を気軽に言ってもらえるように機会や時間を設けたり、ホーム内に苦情箱を設置していることや、また外部者へ表せる場所として瀧井病院の支援事業所を設けていることを伝えています。	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	月一回のミーティングの中で職員の意見交換ができるようにしています。また問題によっては理事長を交えた機会も設けています。	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	行事や受診や、その時状況に応じて職員数を確保し勤務の調整に努めています。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	関連施設の行事等には入居者や職員が参加したり、ときには散歩コースで訪問をしています。また交流会を行うことで顔なじみになれるように努めています。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修への参加は、年に2回ぐらいは受けれるように計画を立てています。また資格を取得できるように努めています。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	日向地区のグループホームの管理者会を毎月13日に開催して交流を兼ね勉強会を行っています。	○	管理者だけでなく職員同士の交流と勉強会も取組んでいきたいと思っています。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員間で話し合いを持ったり、不平、不満、不安にたいしては理事長に話を聞いてもらうなどでストレスをためないように努めています。施設（老健）、病院内でテニス、ミニバレー、フットレスのサークルがありますので参加を呼びかけてます。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の資格取得に向けた支援を行っています。理事長自身もケアする立場で入居者に接しています。また職員の状況に合わせた部署で働きやすいようにとの配慮もあります。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初期段階では不安でいっぱいだと思いますので相手の表情や態度に配慮しながら相手の言葉に耳を傾け、受ける側も態度や言葉に気をつけながら受け止めるように努めています。	○	言葉掛けや態度はゆったりとしていて笑顔で優しい雰囲気です接するように努めたいと思います。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所時や、家族の面会時、またケアプランの作成時に家族よりお話をよく聞き、また相談しやすい雰囲気や受け止める対応に努めています。	○	面と向かっていけないこともあると思うので話し易い第三者や職員の検討も考慮していきたい。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームに見学にきていただいたり、相談時や入居時に家族や本人の思いを見極め他にも色々なサービスがあることや、相談窓口があることを含めた対応に努めています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	新規で入居されたかたは不安でいっぱいだと思いますので1対1での会話やスキンシップを心がけ他の利用者の方々と親しくなれるように職員が中にはいい雰囲気つくりや、より添いの介護に努めます。	○	本人が安心して生活できるように、また他の利用者やホームの雰囲気に馴染めるように努め、相手の言葉に耳を傾けたり笑顔で接するようにしたい。当初は家族の面会を呼びかけたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	毎日の生活のなかでできることは一緒にしていただき、出来ないところを援助させていただきとった同等の立場で生活をして頂いております。また利用者の方からは思いやりの心、物を大事にする心を学んでいます。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ホームの行事への参加を呼びかけたり家族の意見や思いに耳を傾けたりしながら信頼関係が築けるように努め、利用者と家族、利用者と職員、家族と職員と喜怒哀楽がともに出来るような関係が出来ればと日々努めています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	請求書を郵送する時に本人の写真や生活状況を、書ける人はお手紙を書いて送ったりしています。また県外在住の子どもさんにも不定期ではあるが、手紙や電話で声を聞かせる等の支援をしています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	不定期ではあるが、本人が以前住んでいた場所や自宅へはドライブを兼ねて行っています。また、手紙や電話で連絡をとり関係が途切れない支援に努めています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ホールでは椅子の配置などを工夫したり、協働作業、レクリエーションなどを取り入れ孤立しないようなその人にあった支援に努めています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	手紙や電話にて行事への参加を呼びかけ、夕涼み会、お花見、餅つき大会、誕生会等で付き合いを大切にしています。また何かありましたらいつでもご相談くださいとお伝えしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者一人ひとりの訴えや、要望に耳を傾けながら把握に努めています。本人の意思や訴えが確認できないときは本人のちょっとした表情や態度を観察しながら対応に努めています。職員間でのいるんな気付きを共有しています。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	昔の話題にふれ会話の中での生活歴や馴染みの暮らしの把握に努めています。またご家族の面会時にお話を伺っています。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	本人の表情や行動、態度を見極めながら安心して一日が過ごせるように努めています。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の意向がつかめない方は本人の表情や態度を見極めながら、カンファレンス時に職員間で話し合っています。また家族の面会時や電話等で意向を伺い作成をしています。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月一回の勉強会の中でカンファレンスを行いその人の能力に応じて見直しをしています。また対応が出来ない変化が生じた場合は家族や主治医とも相談し新たな介護計画を立てています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践、気付きなどを個別記録に記入して職員間で共有しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の要望や家族の生活状況に応じた必要なサービスを必要な時に柔軟に提供できるように取り組んでいきたい。	○	家庭復帰に向けての支援事業所との連携や、または本人レベルの施設紹介等も取り組んでいきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	利用者やご家族の要望や必要性に応じては、民生委員やボランティアの受け入れは働きかけています。実習生や見学者の受け入れもしています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在のところ他のサービスは利用していません。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の意向や必要性があれば権利擁護やケアマネジメントについても協働していきたい。	○	家庭復帰に向けて家族との調整がつけば協働していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	病院の併設型施設であり、主治医がおり2週間に1回の定期受診を受けています。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	理事長が精神科医であり定期受診やその都度、指示や助言をもらっています。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	入居者の健康状態は常に看護師職員と話し合い、入居者にとってベストな状態で送ってもらえるように支援しています。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には利用者の状態等を把握する為にも面会に行ったり連絡を密にとり、医師、看護師との情報交換に努めています。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期のケアについては運営推進会議の中でもテーマとしてとりあげており、家族、職員とともに話し合いを設けています。また終末期時には医師、家族、職員を含めての話し合いを行います。	○	ご家族の中には終末期をグループホームでお願いしたいと言われています。訪問看護なども視野にいれ主治医とも相談しながら検討していきたい。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご家族の希望により終末ケアをお引き受けした方がいます。ご家族と主治医と職員とで話し合いを持ち、グループホームで出来ること出来ないことを文章にしてご理解をいただけるように努めています。終末ケアを引き受けるにあたり、ご本人にとってはなんと言ってもご家族でするのでご協力をお願いしています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	家族との話し合いや、本人の状態を見ながら行っています。移られる時は生活全般にかかる情報を提供しています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	排泄介助などはさりげない態度と言葉かけをこころがけています。便失禁などは騒がないように速やかに対応するようにしています。個人情報の取り扱いは細心の注意をこころがけています。	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	意思表示が困難な場合には簡単な返事やうなずきで答えられるような働きかけを行っている。職員が先回りをして答えを誘導することがないように心がけあくまでも本人の意思を聞き出すように努力をしています。	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	できるだけ一人ひとりのペースを大切にまた体調に配慮しながら支援を行っているが介護度の重い方がいるので離床や入浴など業務にあわせてもらっている。しかし中には買い物や外出を希望される方もいるので柔軟に対応しています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	起床したら、一緒に洋服を選んだりして、身だしなみやおしゃれができるように支援しています。理容、美容は職員の中に資格保持者がいるので、入居者の方々は喜んでカットや散髪をしてもらっています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物へ行きたいとの希望があり店内で自分の好きなものを選んでレジで支払いされる方が2名おられる。この2名の方はこずかいも管理されています。他の方は職員と一緒に選びレジで支払いが出来るよう支援しています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	落ち着きのない方などは、気分転換を図るため外出をしています。又自宅に帰りたいと希望される方は、ドライブのように出かけたりもします。行きたくないといわれる方もおり、それぞれに対応しています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	職員の配置で個人の希望がなかなか叶えられない。	○	故郷訪問をもっと進めていきたい。利用者と職員の会合の日を設け入所者の希望の添った計画を立てていきたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が話したい時などいつでも連絡を行い、字を書くのが困難な方には代筆を行い支援をしています。月1回は職員より利用者の状況を郵送しています。県外在住の子どもさん達に定期的ではあるが写真を送ったり近況を知らせています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問にあった際には自室やソファへ案内してゆっくり過ごして頂いています。又写真を取り後で郵送しています。訪問時間などは定まっておらず、ご家族の都合の良い時間にいつでも訪ねて頂けるよう配慮している。職員は笑顔で来方者を歓迎しお茶など提供しゆっくりお話が出来るよう努めています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束があってはならないと全職員が認識している。身体拘束は行っていない。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は見守りにて施錠することなく対応している。また外に出て行かれたときなどは、本人が落ち着かれるまで見守りや、一緒に散歩するなどの対応をしています。		
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	一人ひとりの行動や状態を見守り常に声かけをすることにより居場所の確認を行っている。またプライバシーに関しては、場所を変えるなどし本人の訴えに耳を傾けています。職員はさりげなく入居者の状況を把握するように努めその場を離れる時は他職員に引継ぎながら離れるようにしている。夜間は時間ごとに巡視を行い、気になる方は細やかに巡視を行い対応しています。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険な物は、棚や倉庫などなるべく決められた場所に保管しています。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故が発生した場合には家族、主治医に報告して、事故報告書作成し事故の原因、今後の予防対策を職員間で検討しています。関連施設での勉強会を持ち、代表者が参加してミーティングの時に報告しています。又誤えんを起こしやすい方には、食事形態や食事姿勢、飲み込みの確認状態・観察で対応しています。転倒リスクの高い方への見守りや声かけ誘導を行っている。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	関連施設合同で消防署の方に緊急時の応急処置法の勉強会をお願いしています。また、病院の勉強会などに参加するように努めている。	○	ホームで日頃から応急手当や初期対応の訓練を勤務表に組み込んでいきたい。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議の中でも地域の消防団や区長、民生委員の方々に協力を得られるように働きかけている。防災計画書を作成して年2回避難訓練行っています。	○	ホームが高台にあることで地域の方々の避難場所としての受け入れを働きかけていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	<p>入所時にもご家族に説明をしています。また、日頃の面会時や手紙にも本人状態や生活状態等をお伝えしています。起こり得るリスクについては、本人が力を発揮出来るように見守り、自由を妨げないような職員の対応について話し合っています。</p>	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎日のバイタルチェック、顔色、排便、や本人の状態を観察し記録している。異変時には速やかに主治医に連絡をし指示や助言を求め全職員で共有しています。</p>	
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬についての、お薬説明書がいつでも見れるようにしています。定期受診時のくすりの変更や主治医の指示は申し送りノートに記載するようにして、全職員で共有しています。</p>	
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>繊維質の献立や野菜を多く取り入れた献立を心がけています。水分補給はゼリーなどその人にあった水分補給を心がけています。排便がないときは（3日目）主治医からの指示薬でコントロールしています。</p>	
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後、口腔ケア、うがいの声かけ実施は、そのひとの状態にあわせた自立支援をしています。</p>	
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎食時、10時、15時、夜間帯の水分補給で水分量が少ないかたは本人が飲めそうなアイソトニックゼリーや、ジュース等に対応しています。食事に関しては主治医の指示で栄養補助食品で対応することもあります。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	入居者は家族の同意をいただき職員も共にインフルエンザの予防接種を受けています。ノロウイルス対策として衛生面を考慮してペーパータオルを使用しています。また毎日椅子や手すりをハイターで消毒ふき取りを行っています。常に手洗い、うがいには心がけています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、フキンなどは毎日消毒を行い、調理の際はエプロンを変えて清潔を心がけています。冷蔵庫には3日分の食材を保管し使いきるようにしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関まわりに花を植え親しみがもてるように努めています。夜間以外は施錠をはずし、いつでも出入りできるようにしています。	○	庭が広いため雑草が生えやすいので季節の花と植木などで生活観を出せるようにしていきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	音の大きさや、照明、換気、温度調節は入居者に合わせ配慮するように心がけています。壁の飾り物などは季節感を感じられるように工夫しています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う方々がホールのソファでテレビを見られたり、畳で休まれたり、またホール内を自由にマイペースに過ごしています。座席などに配慮してくつろげるように努めています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

市内から10分ぐらいの位置にあり、高台にて庭も広く自然が豊かな場所です。高台にあるため、台風災害には地域の避難場所としても受け入れが出来るように、水や保存食を備えています。ホームの隣には理事長宅（精神科医）、老健、すぐ近くに病院を控えており入所者の体調異変時等には、すぐに対応が出来るような体制になっています。日々の実践としては、食事前の嚥下体操をすることによって、食物の飲み込み状態も良くなってきています。個人の趣味や性格などを尊重し、ちぎり絵や歌など、その人の好みに応じた活動を取り入れています。また、ホームの理念としても笑顔で挨拶をホーム全体で実践しています。